

第6学年 学活 略案

1 日時 令和 年 月 日 ()

2 学年・組 6年

3 題材名 「みんなが楽しめる活動を考えよう（作ろう）」～「えこひいき」ではなく「公平」に～

4 学習指導要領 特別の教科 道徳

「主として人とのかかわりに関すること」

→自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。

4 本時の目標

- ・様々な子がいることを想定し、みんなが楽しめる活動を考えることができる（作ることができる）
- ・「えこひいき」と「公平」について自分なりの考えを持つことができる。

5 本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点★評価
導入 5分	I 「えこひいき」と「公平」それぞれの言葉を確認する。 発問：『『えこひいき』『公平』という言葉を聞いたことがありますか？』 板書する ・公平は、みんな一緒 ・えこひいきは、その人だけ ○ スライドで確認していく えこひいき →特別扱いすること、その人だけ有利にすること、可愛いからカッコいいから可哀そだからといった見方をしてサービスしそぎてしまうこと 公平 →みんなが楽しめるように。みんながかたよりなく。みんな同じように扱う	○野球観戦上のシチュエーションを視覚的に提示し2つの言葉の意味をおさえる。
展開 25分		

- 2 「公平」「えこひいき」ジャッジクイズ
- ① 4年生とのすごろくゲーム
→4年生にはサイコロ2個あげる
- ② 1年生との輪投げあそび
→1年生は距離を近づける
- ③ 2年生と鬼ごっこ
→2年生が鬼をやりたがらないから高学年がずっと鬼
- ④ 3年生との玉入れ
→3年生の玉入れの高さを低くする

○2つの言葉の理解を深め、般化できるようにクイズ形式で様々な場面で考えられるようにする。

※「公平」「えこひいき」わかった場合には、それぞれの理由を聞く。もし不正解だとしてもそれぞれ「理由まで深く考えられたね。」「そこまで深く考えられたんだね。」等、自分なりに考えられた事に価値付けをする。

「みんなが楽しめる公平な活動を考えよう（作ろう）」

3 「縦割り班遊び」での遊びを考えてみよう

縦割り班あそびで1～6年生までが一緒に外で「鬼ごっこ系のゲーム」をしようと考えています。みんなが楽しめる「公平」にするためのルールや対応を考えましょう。

話し合い

- ・グループに1枚ワークシートを配布し話し合いながら考える

発問：「1年生と遊ぶ場合、高学年、1年生はどんなことにこまりますか？」

ここでのポイントはみんなが楽しめることです

※6年生（自分達）も含める

発表タイム①

（1年）

「すぐにつかまる」「つかまえられない」「ルールが分からぬい」等

（6年生）

○実際の場面をイメージできるようにどのような状況になりそうかは全体で行う。

○同じ縦割り班の友達とグループで話し合うことでこれから活動に生かせるようにする。

○A3の紙を各班に配り1枚にまとめられるようにする。

★様々な子がいることを想定し、みんなが楽しめる活動を考えることができる（話し合い）

※そもそも他の遊びをすればよいという「回避」はねらいとズレてしまうため今回は「おにごっこ系のあそびで考える」ということは伝える。

終末

「手加減でつまらない」「タッチしても逃げ続ける」「泣かれる」「言う事が分からない」等

・「先生なりに考えたいいくつか困り感をみてください」

スライドで共有する

**発問：「今出てきた困りそうなことを、工夫したルールや対応
を考えてみましょう！」**

発表タイム②

各班、順番に発表する（各班1分）

5 「まとめ」はスライドを進めながら話す

6 「ふりかえり」ワークシートを記入する

★「えこひいき」と「公平」
について自分なりの考えを持つ
ことができる。（ワークシート）

準備するもの：スライド、A3 ワークシート、ふりかえり